

国際会議成果報告書

(公財)スガウエザリング技術振興財団 国際会議助成事業

令和6年度国際会議助成（第43回）

1. 国際会議名 ISO/TC107 第36回総会 (ISO/TC 107 36th Plenary Meeting)
2. 申請者所属・氏名 元地方独立行政法人大阪産業技術研究所研究フェロー
(現技術コンサルタント) 藤原 裕
3. 開催期間 令和6年11月19日から令和6年11月22日まで
4. 国際会議成果の概要

(和文) ISO/TC107 (ISO (国際標準化機構) 第107技術委員会) では、「金属および無機コーティング」を対象技術分野として、22か国のメンバー (2024年11月時点) が新しい国際規格の提案・審議を行っている。その対象技術は、電気めっき、溶融めっき、無電解めっき、化成処理、PVD、腐食評価、溶射、珪瑯、原子層析出という幅広い無機・金属コーティング技術である。個別課題の審議を進捗させるために、年に1回の総会 (Plenary Meeting) で議論することがルール化されている。

2023年10月の第35回総会 (ベルリン) において、次回の総会を日本で開催することが決議され、ISO/TC107 第36回総会を2024年11月に京都で開催する運びとなった。直ちに一般社団法人表面技術協会内に設けられた ISO/TC107 国内対応委員会を通じて、実行委員会を組織し、開催準備を開始した。約1年間の準備期間を経て、2024年11月19日～22日の4日間、株式会社島津製作所の大会議室をお借りして ISO/TC107 第36回総会を開催した。参加者は ISO/TC107 の P メンバー国のうちの14か国から、延べ約120名であった。日本国内からは延べ40名以上が参加して審議に寄与した。

総会では、金属無機コーティング分野の新規国際規格提案、既存規格の改廃等に関する活発な議論が行われた。日本からは、新規規格提案の内容紹介として3件のプレゼンテーションを行うとともに、腐食試験を対象とする SC7 の議長および事務局を日本から選出し、総会の運営に大きく寄与した。最終日には26項目の決議が採択され、金属無機コーティング分野の国際規格に関する今後の方向を示すに至った。

(英文) The 36th Plenary Meeting of ISO/TC 107 was held from 19th to 22nd, November 2024 at Shimadzu Corporation in Kyoto. In the 36th Plenary Meeting of ISO/TC107, new work items for standardization in the field of metallic and inorganic coatings are discussed by about 120 participants from 14 countries. Number of participants from Japan were over forty. Twenty-six resolutions of the plenary meeting, which show future direction of international standards of metallic and inorganic coatings, were adopted.

(公財)スガウエザリング技術振興財団 研究助成事業